

各 位



平成23年 4月 28日

会社名 兼松日産農林株式会社
代表者名 取締役社長 高崎 實
(コード番号 7961 東証第1部)
問合せ先 経理部長 田中昭浩
(TEL. 03 - 3265 - 8231)

特別損失の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本年3月11日に発生いたしました東日本大震災の影響により特別損失を計上することに伴い、平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の通期業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上について

本年3月11日に発生した東日本大震災により、当社では外部倉庫(宮城県仙台市宮城野区)に委託保管しておりました仙台事業所所管の原材料(製材品)等たな卸資産2億9千3百万円に損害が生じ全額を損失処理し、また、被災地所在の仙台事業所等の一時休業による損失を含め、合計3億7百万円を特別損失として計上することといたしました。

なお、仙台事業所の設備の一部に被害がありましたが軽微であり、点検、調整も終了し現時点では全面的に稼働しております。

2. 平成23年 3月期通期連結業績予想数値の修正(平成 22年 4月 1日 ～ 平成 23年 3月 31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	9,800	90	70	50	1.21
今回修正予想(B)	10,128	88	81	△ 272	△ 6.58
増 減 額(B-A)	328	△ 2	11	△ 322	—
増 減 率 (%)	3.3	△ 2.2	15.7	—	—
(ご参考) 前期実績(平成22年 3月期)	9,639	24	12	0	0.00

3. 業績予想修正の理由

当連結会計年度の住宅関連業界は、新設住宅着工戸数は持ち直しておりましたが低水準で推移し、さらに震災による影響から厳しい事業環境が続きました。このような環境のもとで当社グループは更なるローコスト化に努めるとともに組織改革による営業力、技術力の強化及び独自製品の市場普及に注力し、売上高、営業利益、経常利益は概ね想定どおりとなりましたものの、上記1. の特別損失を計上することにより当期純利益は予想数値を下回る見込みとなりました。

上記の業績予想等は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により異なる結果となる可能性があります。

以 上